

令和4年9月1日

神戸大学大学院医学研究科 生体構造解剖学分野 研究員あるいは特命助教の公募について

本学大学院医学研究科、生体構造解剖学分野（仁田亮教授）において文部科学省 学術変革領域研究（A）「クロススケール新生物学」を担う計画研究「クロススケール細胞内分子構造動態解析が解明する細胞骨格ネットワーク構築とその破綻」を推進するため、博士研究員または特命助教の公募をおこないます。

## 1. 研究内容

細胞の形づくりの生理機構を、微小管をはじめとする細胞骨格ネットワークの形成機構から明らかにし、またその破綻（心不全・神経変性疾患など）の病理構造基盤にも迫ります。技術的には主にクライオ電子顕微鏡法（単粒子解析および電子線トモグラフィー）を用い、全反射照明蛍光顕微鏡法なども併用して、形態・機能両面からの解析を進めます。研究の詳細については研究室ホームページをご参照ください（<http://structure.med.kobe-u.ac.jp>）。

## 2. 募集人数 1名

## 3. 着任時期 2023年4月以降

## 4. 待遇

### (1) 非常勤の任期制研究員の場合

年度毎の更新。最長2025年度まで再認可。給与等待遇は、国立大学法人神戸大学非常勤職員就業規則の定めるところによる。（目安として 博士有30歳、年俸340万円程度、各種保険、交通費は別で支給）

### (2) 特命助教の場合

任期制の常勤で、1年ごとの更新。最長2025年度まで再認可。給与等待遇は、国立大学法人神戸大学特命職員(常勤)就業規則の定めるところによる（目安として 博士有30歳、年俸400万円程度、各種保険、交通費は別で支給）。希望するものに対しては、医学部解剖学教員としての育成も検討する。

## 5. 雇用期間

最長2025年度(2026年3月末)プロジェクト終了までの予定（状況次第で継続雇用の可能性あり）。

## 6.応募資格

大学院博士課程修了者(見込みを含む)または博士号取得者で、クライオ電子顕微鏡研究に意欲を持って取り組もうとする若手研究者を求めます。クライオ電子顕微鏡やX線結晶解析などの構造生物学研究の経験があればなお良いですが、具体的な経験は無くても構造研究に対する能力と熱意を兼ね備えた方の応募を歓迎します。

## 7.募集期間

随時。ただし、適任者が決まり次第締め切ります。

## 8.提出書類

以下の書類をメールに添付して、連絡先まで送付して下さい。 問い合わせ可能です。

(1) CV、(様式自由)

(2)研究業績リスト

(3)現在までの研究概要および将来への抱負

## 9.連絡先

神戸大学大学院医学研究科 生理学細胞生物学講座 生体構造解剖学分野 仁田 亮

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1

E-mail: [ryonitta@med.kobe-u.ac.jp](mailto:ryonitta@med.kobe-u.ac.jp)

<http://structure.med.kobe-u.ac.jp>